

粧よそお い 眠ねむ る

秋と冬の 日本画名品選

2026年
10^{①火}
27
……
2027年
2^{①日}
7

【開館時間】 10:00～17:00 (入館は16:30まで)
【休館日】 毎週月曜日 (祝日の場合は翌平日)
年末年始 (2026年12月28日 (月)～2027年1月4日 (月))
【観覧料】 一般1,400円 / 25歳以下700円 / 高校生以下 無料
*障害者手帳をお持ちの方は各種料金の半額、介助者1名まで
各種料金の半額

※会期・開館情報は状況により変更になることがあります。
最新情報はホームページをご覧ください。

※会期中、一部展示替えがあります。

松岡美術館
Matsuoka Museum of Art

〒108-0071 東京都港区白金台5-12-6 TEL: 03-5449-0251
HP: <https://www.matsuoka-museum.jp/>



matsuokamuseum



@matsu_bi



@matsuoka_museum_of_art

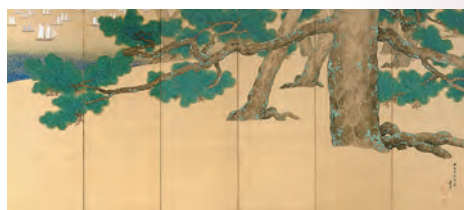


粧い眠る 秋と冬の日本画名品選

Selections of Japanese Paintings on the
Theme of Autumn and Winter

2026年 10/27(火) 2027年 2/7(日)
前期: 10/27(火) ~ 12/13(日) 後期: 12/15(火) ~ 2/7(日)

山粧う、山眠るという季語があります。これは北宋の画家郭熙の「山水訓」にある「秋山明浄にして粧うが如く、冬山惨淡として眠るが如し(秋の山は空気が澄み切って明るく、紅葉で色づき着飾っているようである、冬の山はぼんやりと薄暗く眠っているようである)」に拠るとされます。本展ではこの言葉を引用し、松岡コレクションから秋と冬をテーマとした選りすぐりの日本画の名品をご紹介します。金風が吹き紅葉によって鮮やかに彩られる秋の風景、雪に覆われる山岳風景や厳しい寒さの中でも彩りを失わない松や竹など、秋と冬の季節感ただよう名品をお愉しみください。



- ① 酒井抱一《月兎》江戸時代 前期展示
- ② 木村武山《寒林富岳》前期展示
- ③ 池田輝方《紅葉狩》1912(明治45)年頃 後期展示
- ④ 寺崎廣業《春海雪中松図》1914(大正3)年 後期展示
- ⑤ 川端龍子《安息》1919(大正8)年 再興第6回院展 後期展示
- ⑥ 橋本雅邦《松竹梅七福神図》1900~1901(明治33~34)年頃 後期展示



【交通案内】
 ■東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線「白金台駅」1番出口から徒歩7分
 ■JR「目黒駅」東口から徒歩15分
 ■都営バス「目黒駅」東口バスターミナル2番のりば 黒77:千駄ヶ谷駅前行 橋86:赤羽橋駅前行・新橋駅前行「東大医科病院西門」下車 徒歩1分

facebook matsukamuseum
 X @matsu_bi
 Instagram @matsuoka_museum_of_art

松岡美術館
 Matsuoka Museum of Art

〒108-0071 東京都港区白金台5-12-6
 TEL: 03-5449-0251 FAX: 03-5449-0252
 HP: <https://www.matsuoka-museum.jp/>



※会期・開館・イベント情報などは状況により変更になる場合があります。最新情報はホームページなどでご確認ください。

同時開催

百花精彩 明から清までの中国陶磁

Chinese Ceramics from the Ming Dynasty to the Qing Dynasty

本展では、白磁に青色の文様が映える青花や色とりどりの釉薬で絵付けをした五彩、絵画のように繊細な表現で装飾された粉彩など、明から清時代までの景德鎮窯を中心にをご紹介します。卓越した技術と多彩な技法が創り出した華麗な中国陶磁の世界をご覧ください。



《青花龍唐草文天球瓶》
 明時代 永楽期
 景德鎮窯



《紅地粉彩花卉文扁壺》
 清時代 「大清乾隆年製」
 景德鎮窯

イベント
 情報

わいわいデー 観て、話して、楽しんで!

10/31(土) 11/28(土) 12/5(土) 1/9(土) 1/16(土) 1/23(土)
 各日14時よりギャラリートーク ※内容はホームページをご確認ください。

友人やご家族と
 会話をしみながら、
 作品をご鑑賞ください。